

■陸前高田市 第一中学校 : ヒアリング記録 : 110509 10:00 ~ ■

ヒアリング・記録: 首都大学東京 上野淳, 竹宮健司

応対してくださった方: 校長 佐々木 保伸 先生

[順不同]

- ・当中学校は、町の外れ、かなりの勾配の坂道を上った小高い丘の上に立地。
- ・当日、午前は体育館の落成式、午後は卒業式の予行練習（卒業式の4日前だったので）
- ・地震時、ほぼ全員の生徒、教職員が体育館。

揺れはひどく、立っているのも大変。普通ならば机にもぐるところだが、体育館なので身を低くして若干揺れが少なくなった段階で校庭へ避難した。校庭へ避難している状態でも震度5くらいの余震が続いていた。そのまま待機していた。

- ・30分くらいしたら、津波: 音と、けむり、地鳴りと高い金属音が混じったような音……→（直接は目撃しなかったが）激しさがわかる

防災アナウンス: 大津波警報「津波が堤防を越えた」放送があった。

避難者・避難の車が学校を目指してあがってきた。先生に指示して車を誘導した（駐車する場所を示した）。車と生徒が一緒になるので、生徒と避難者を体育館に誘導した。当初は、生徒と避難者が体育館で一緒に避難していたが、このままだと生徒も学校に泊まることになるかと判断したので、生徒をHR教室に移動した。その後、避難者は体育館にぞくぞくと集まってきた。

（この時から、避難者は教室には誘導しなかった……→授業再開がHR教室を中心に実現したことに結びついた）

- ・生徒はHR教室へ。……→その後、生徒は学年別・男女別にHR教室で泊まる。

（生徒数297名のうち、親が引き取った生徒は40～50名。残った約250名が教室に泊まった。）

- ・当日10名の生徒が欠席……→犠牲者3名（内~~3~~2名は死亡、1名は行方不明）

- ・避難者総数は当日夜約1,000名

・水は給水タンクにあったもののその後の枯渇を考慮に入れて、その夜全員に茶碗1杯の水の配給でとどめる。……→こうした公平な処遇が避難所運営には大切。教員の冷静沈着な差配 [筆者注]

・当日は雪まじりで寒い夜、電気は途絶。暖房も対流式の石油ストーブ2台のみ。高齢者負傷者のいる保健室にストーブは置いた。教室のカーテンを全て外し、2～3名で1枚のカーテンを体に巻いて寒さを凌ぐ。

- ・避難者の方々: 「いろいろな人がいろいろなことを言う」……→避難者の中に警察官の方が居た。（初日の夜までは警察の方がリードしてくださった）……→冷静な判断力で指導力を発揮してくれた。教職員が主体となって様々な判断、避難者への指導・助言を行っ

た.

- ・教職員は避難者よりも生徒達に重点的に関わるようお願いした（保護者の安否確認、生徒の引取先の確保など）。避難者には避難所組織が対応するように役割を分担した。

- ・市中心部への道路は津波・瓦礫で途絶。

食糧：2日目全員にパン1個、その後住田小学校からおにぎり全員に一個程度。

電気：2日目自家発電機が届く

炊き出し：3日目（中学校の上の方に新興住宅地があり、そこからの差し入れ）

電話：現在も電話（固定電話 NTT）は通じない。1週間後くらいに NTT の衛星携帯が入り、現在も使用している。

- ・お手洗い：給水タンクに水はあるが、飲料水確保のためトイレ水洗には使わず。水栓も止めた。

グラウンド（体育館脇）に溝を掘り、板を渡す。周囲をベニア板で囲う仮設トイレを作る（6～7室）……→阪神淡路の時と同じ〔筆者注〕

- ・保護者の安否確認ができたのは3～4日後。

母親死亡：約30名、父親死亡：約20名、両親とも死亡：9名

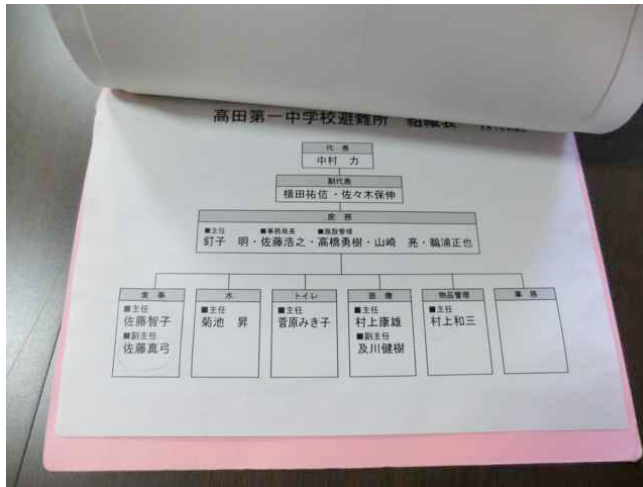
- ・生徒297名の内、家流失が約150名 →半数の生徒が避難所や親戚の家から学校に通っている。友人や同級生と会うことが生徒たちの精神的にもプラスになっていると思う。

- ・生徒の避難所生活が続く中、親の引き取りが直後から順次あり、身元（信頼できる保護者であること）を確認しながら順次保護者へと引き渡す。（当日引き渡した生徒は40～50名）……→両親とも死亡、または引き取る知人等なしで現在10名の生徒が残っている。（10名になったのは10日目ぐらい）

両親が健在でも、職場に泊まり込んでいるため生徒が避難所に泊まらなければならないケースもある（父親が市役所職員、母親が看護師）

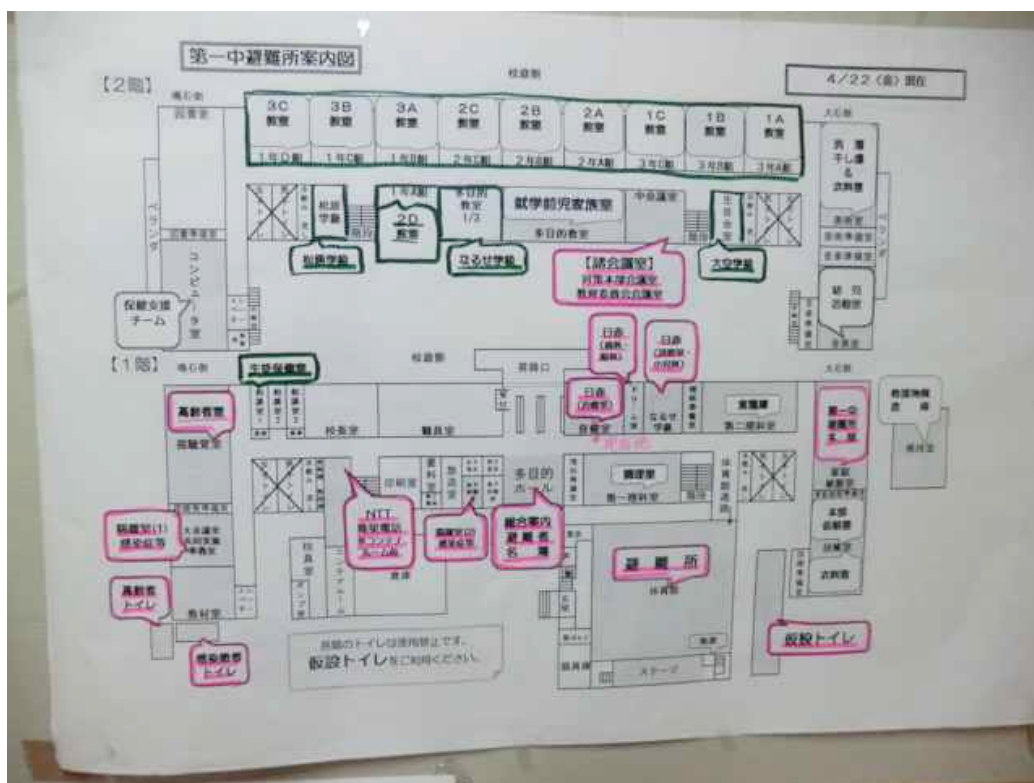
- ・教職員：2～3日目から、順次交替で自宅の確認に一時帰宅

- ・避難者自治組織：3日目位から立ち上がる。当初は校長も施設の責任者として代表に加わる。食事係、物資係など徐々に役割分担ができた。最初の2・3日は、校長が（避難所の）施設長になった。校長が代表となっていると学校が再開したときにうまくないので、適切な方に避難所の代表をお願いした。役割分担表は最初、手書きで作成した。その後きちんと清書した。（写真は3/16版）。

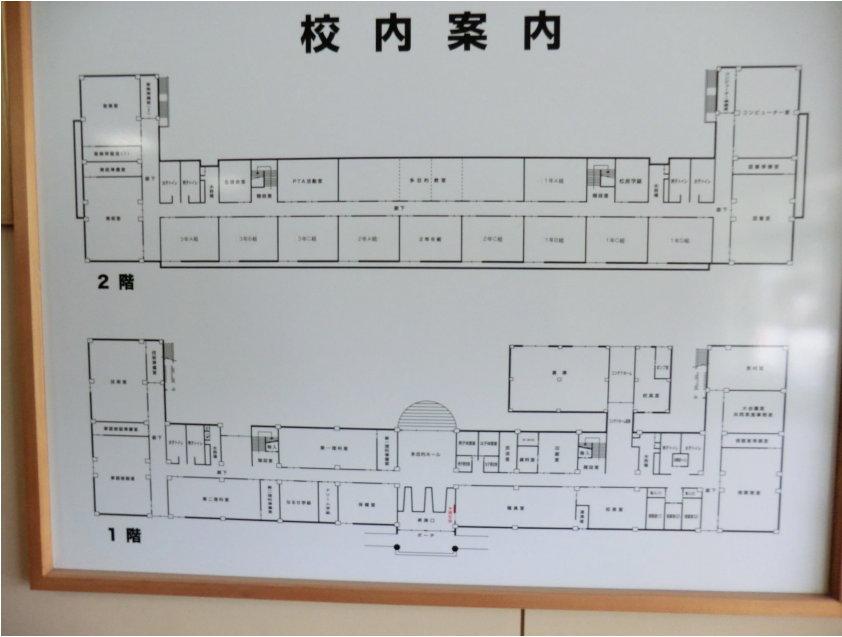


- ・情報の途絶：電話が通じず，TV，ラジオ，インターネットも電源途絶で情報が入らず，かなりの期間情報の枯渇状態 ……→取材に訪れたマスコミ陣に逆に質問
「お風呂の支援はいつごろからあるのか？」・・・7日～10日後に支援があった。
……→避難所への情報サポートが大切 [筆者注]
- ・教職員には，生徒の家庭訪問を実施するための引取先のリストを作成するように依頼した。
- ・避難所では，高田町民がほとんどなので，各行政区単位で部屋割り，代表を選出し本部スタッフを組織した。本部スタッフの中で，避難所を運営していく中でボランティアをどのように位置づけるかを議論した。『阪神淡路，中越の経験から「受け入れる人」「受ける人」の関係を作っている避難所はうまくいっていない，自分たちで，自分たちのことをやる避難所はうまくいっていた』との情報が入ってから，外部のボランティアはスタッフに入れない方針とした。（このような避難所の立ち上げなどの経験に関する情報が欲しかった。ない知恵よりも経験がほしかった。）
- ・[授業再開] 4/22始業式，4/23入学式・授業開始（再開時の生徒数268名）
HR教室は確保できているので，授業開始にこぎつけることができた。
体育館は避難者がぎっしり，グラウンドは仮設住宅，住民の駐車場となっており，体育スペースが無い。週に1回，バスで近隣（一関市・住田町）の小中学校の体育館を借りに行き体育の授業を行っている。
- ・乳幼児の居る家庭のための住スペース（多目的室：カーペット敷き），介護が必要な高齢者のスペース（視聴覚室），医務室（保健室），感染症の人のための部屋，救援物資のためのスペースなどで，特別教室は使えない状況。
- ・インフルエンザ（生徒2～3名），感染性胃腸炎（20名程度）などのための隔離病室も必要

- ・ 避難者の中には、津波でずぶ濡れになった人たちも含まれていた。その人達には保健室に用意しておいた着替え（体育着）を使ってもらった。（10着弱）
- ・ 警察の無線は当日の11時ごろにバッテリー切れで、消防車もガス欠で使えなくなった。
- ・ 保健室は治療部屋、隣が問診部屋、高齢者などの部屋に使った。（後に歯科が入った）
- ・ 重篤な患者は、自衛隊が大船渡病院、盛岡の県立病院等へ搬送した。
- ・ 当初、日赤と県立高田病院のスタッフがこの避難所に来た。その後、高田病院のスタッフが米崎に移動した。
- ・ 中学校の海拔は36メートル。



避難所案内図



校内案内図

■陸前高田市 第一中学校 避難所本部 : ヒアリング記録 : 110509/11:00 ~ ■

ヒアリング・記録: 首都大学東京 上野淳

ユウキチ

応対してくださった方: 避難所本部 「絆の丘」自治会 会長 横田 祐佑 氏

[入手資料]「絆の丘」: 高田第一中学校避難所 利用案内 平成23年5月1日
(避難所の運営ルールや自治組織, 避難者の心得, 日課などが詳細・的確にまとまったパンフレット)

[順不同]

・横田氏は元中学校の校長。避難所運営には3日目から参画

(中学校の現校長とも信頼関係があり, 常時打ち合わせ: このことが避難所と学校機能が同居の運営を何とか保っている要因 [筆者注])

・現時点での避難者は約500名

・避難者の食事は, レストラン経営, 飲食店経営などの経験がある避難者の調理担当班が交替で担当。

・体育館の避難者は地域毎のグループでA~Iの班編成。この代表者が集まる会議を定期的に開催。トイレ清掃, 夕食後片付けなどはこの班毎に輪番で行う。

・その他, 総務班, 食事班, 給水場・環境施設班, 物資・物流班, 保健衛生班, などの組織と班長会議がある。

・HR教室はすべて中学校の授業に使用。

避難所本部: 1階家庭科被服室

日赤救護室(診察室・小児科), 治療室, 歯科・眼科: 1階保健室, 隣の特別支援学級

高齢者受け入れ室: 1階視聴覚室

就学前児家族室: 2階多目的室 (ここだけはカーペット敷き)

幼児活動室: 2階音楽室

洗濯干場: 2階美術室

などの諸室が設定され, 殆どの特別教室が塞がっている状態。

・直後, 避難者が中学校にどっと押し寄せる状況(約1,000名)教職員などのスタッフの指導で受け入れ態勢を整えることができた。

・近隣の住田小学校からおにぎりの差し入れが2日目にあった。一人一人に平等にいきわたるよう配慮した。避難所運営にはこうした公平な扱いが大切。

奪い合い, 喧嘩, 暴力などは今までに一切なく, 避難所は適切な倫理観で運営されている。

・避難物資は届いているが, 魚, 野菜などの生鮮食料品は慢性的に不足している。